

式 辞

本日ここに、在校生並びに教職員の皆様はじめ、多くの関係者の皆様のご臨席のもと、愛知県立中村高等学校、創立七十周年記念式典が挙行されますことを心よりお祝い申し上げます。誠にありがとうございます。

私は、先ほど紹介をいただきました、令和二年度から同窓会長を務めております木村一郎と申します。

昭和四十五年四月から三年間生徒として、昭和五十七年四月から平成元年三月まで、保健体育の教師として中村高校でたくさんの思い出を作ることができました。生徒の時代は、柔道部に所属し、しっかり汗を流していました。部活動だけでなく、学校祭でも皆が団結して盛り上げていました。ほかには、先輩の卒業式後の出来事や、自身の卒業式での出来事は深く印象に残っています。高校三年生の時に創立二十年を迎え、中村高校の校章の透かしが入ったしおりを記念品としていただいたと記憶しています。教職員の時代には、柔道部の顧問として部員の指導をしていましたが、途中でラグビー部、当時は同好会として活動していましたが、その顧問も引き受け、生徒とともに楯円球を追いかけていました。

我々の時代は、県立高校では、自分の目指す高校に進学するためには、1回限りの入学試験でした。昭和四十八年度から学校群制度が始まり、平成元年度から複合選抜制が導入されました。これらの入試制度改革により、合格しても思い通

りに中村高校に入学できなかつたり、また、その逆の思いでこの中村高校に入学した人もいます。

いずれにしても、今日にいたるまで、中村高校を支えてくださった多くの教職員の皆様、保護者の皆様に深く感謝いたします。

中村高校では、これまで二万六千人を超える卒業生が送り出されました。本日、ご講演をいただく日本マクドナルドホールディングス株式会社代表取締役社長兼 CEO の日色 保様はじめ多くの優秀な卒業生を輩出しています。探ればまだまだ様々な業界で活躍されている卒業生の方も多くいらっしゃると思います。どうか皆さんも中村高校の同窓であることを誇りにしていただき、失敗を恐れず、それぞれの自分の夢に向かって進んで行かれることをお祈りして式辞といたします。

令和四年 十月二十八日

第一二代同窓会長 木村一郎